

「メンテナンス・レジリエンス TOKYO2015」 「東京エアロスペースシンポジウム 2015」 および 「INCHEM TOKYO 2015 第1回水素エネルギー技術展」 への出展

清水 弥生^{*1} 寺久保麻美^{*2} 峰尾 聡^{*3}
Shimizu Yayoi Terakubo Asami Mineo Satoshi

1. メンテナンス・レジリエンス TOKYO2015

2015年7月22日～24日の3日間、東京ビックサイトで開催された「メンテナンス・レジリエンス TOKYO2015」（主催：一般社団法人日本能率協会）に出展した。

本展示会は、昨年まで「ものづくりNEXT ↑」として開催されていたものである。今年度は、工場設備更新を対象にした専門展示会「生産と設備 TOKYO2015」と同時開催された。これにより、規模も拡大し出展社総数 385社 / 618ブース、来場者数 30,679名となり、IICブースにも約 200名の方にお立ち寄りいただいた。

IICは、塗膜上から鋼材表面の傷検査が可能な携帯型渦流探傷装置「Mobile EDDy[®]」、現場での鋭敏化度測定を可能にした「DOS テスター」、センサに光ファイバーを利用した油膜・漏油検知器「オイルリークモニタ」など、『プラントメンテナンス』をキーワードにした装置の紹介を、実機展示と共に実演も交えながら行った。

このうち、本展示会がリニューアル後の初出展

となった「DOS テスター」については、改良点のほか技術的な質問も多くあった。また、装置以外の検査・計測業務についても、多くのご相談をいただいた。

今後は、お立ち寄りいただいたお客様に対するフォローを通じ、新たな案件発掘につながるよう営業活動を行っていく。

〔IIC の出展品〕

- ・ 携帯型渦流探傷装置「Mobile EDDy[®]」
(パネル・実機展示、実演)
- ・ 鋭敏化度測定器「DOS テスター」
(パネル・実機展示)
- ・ 高性能油膜・漏油検知器「オイルリークモニタ」
(パネル・実機展示)
- ・ 「レーザクリア」
(パネル・実機展示、PR ビデオ)
- ・ 穿孔法による残留応力測定 (パネル展示)
- ・ 三次元計測 (パネル展示)
- ・ IIC 業務紹介 (パネル展示)

*1：営業統括部 第三グループ

*2：営業統括部 第一グループ

*3：営業統括部 第二グループ



写真1 メンテナンス・レジリエンス TOKYO2015

2. 東京エアロスペースシンポジウム 2015

2015年10月14日～16日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「東京エアロスペースシンポジウム2015」にIHIグループの一員として出展した。同展示会は隔年で開催されてきた「東京国際航空宇宙展(ASET)」を引き継ぐ展示会となり、航空宇宙に関する事業を展開する企業162社が出展した。

会期中は天候にも恵まれ、展示会の来場者数は、3日間合計で23,687名と盛況であった。IHIブースにも多数の来場者があり、IICでも130名の方々から名刺をいただいた。来場者の業種は大手重工企業や中小の部品メーカーなど幅広く、航空宇宙分野を中心にIICの技術や製品をPRできる良い機会となった。

本展示会では、航空宇宙業界への受注拡大を目標に、IICの持つ技術の中で航空宇宙関連産業に適用可能と考えられる、検査・計測サービスを中心に紹介した。また、制御システム事業部で進められている宇宙関連の研究開発についても、併せて紹介を行った。その他に新製品の「レーザクリア」や「Mobile EDDy®」、蛍光浸透探傷剤「ZYGLO」等もパネルや実製品を展示し紹介した。

本展示会では、検査を専門とした企業の出展が少なかったことから、来場者から今後実施を予定している試験について引合いをいただくこともあ

り、新規顧客の拡大に繋げることができた。また、従来の金属を対象とした非破壊検査および計測だけでなく、複合材やプラスチックなどの新素材に対する検査および計測手法などについても問い合わせがあり、業界の動向として新素材の適用に注力していることがうかがわれた。

今後は来場いただいた方へのフォローを通じ、引き続き受注拡大に取り組んでいく。

〔IICの出展品〕

- ・「レーザクリア」(パネル・実機展示)
- ・携帯型渦流探傷装置「Mobile EDDy®」(パネル展示)
- ・蛍光浸透探傷剤「ZYGLO」(パネル・製品展示)



写真2 東京エアロスペースシンポジウム 2015

3. INCHEM TOKYO 2015 第1回水素エネルギー技術展

化学プラントを中心とした製造業界向けの各種装置の販売や受託試験のPR、および新規顧客開拓を目的とし、2015年11月25日～27日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「水素エネルギー技術展」に出展した。

本展示会は、公益社団法人化学工業会と一般社団法人日本能率協会が主催し、第30回プラントショーに併設して、水素エネルギー技術に関連した企業14社の出展により初めて開催された。

3日間を通して、化学業界、自動車業界、装置

メーカーなど、多数の来場者があった（展示会全体：22,802名、IICブース来場者：145名（名刺））。検査事業部関連では、「高速AE計測システム」、「Mobile EDDy®」を展示した。「高速AE計測システム」では複合材CFRP損傷評価方法のパネルと座標位置の特定ができるデモを実施し、来場者の関心を集めた。

計測・機器装置・制御システム事業部関連では、「DOSテスター」、「レーザクリア」を主軸に、穿孔法による残留応力計測サービス、「オイルリークモニタ」を紹介した。「レーザクリア」に関しては、新しく製作したプロモーション動画を放映し、来場者の関心を引き付けることができた。また、「DOSテスター」に関しても、実機を展示したことで、来場者の関心を高めることができた。

本展示会への出展は初めてであるため、前回との比較はできないが、デモ機やプロモーション動画の放映により、成功を収められたと感じた。

IICブース来場者の中から、展示会での質問内容や打合せ内容に基づき、順次訪問およびPRを実施中である。

水素エネルギー技術は、水素自動車や蓄電池等、今後も発展が見込まれる事業であり、IICの製品や技術の認知度を上げ、新たな分野や業界からも



写真3 INCHEM TOKYO 2015 第1回水素エネルギー技術展

受注ができるよう活動していく。

[IICの出品品]

- ・ 高速AE計測システム「AMSY-6」
(パネル・実機展示)
- ・ 携帯型渦流探傷装置「Mobile EDDy®」
(パネル・実機展示)
- ・ 鋭敏化度測定器「DOSテスター」
(パネル・実機展示)
- ・ 「レーザクリア」(パネル展示)
- ・ 穿孔法による残留応力測定 (パネル展示)
- ・ 高性能油膜・漏油検知器「オイルリークモニタ」
(カタログ)



営業統括部
第三グループ
清水 弥生

TEL. 03-6404-6351
FAX. 03-6404-6044



営業統括部
第一グループ
寺久保麻美

TEL. 03-6404-6154
FAX. 03-6404-6044



営業統括部
第二グループ
峰尾 聡

TEL. 03-6404-6193
FAX. 03-6404-6044